

「じえじえじえ!!!」軽快なリズムに乗せて鉄道が走る――

今年の日本の朝に、笑いと元気を運んでくれたNHK連続テレビ小説『あまちゃん』。この朝ドラから「じえ!」という岩手県（北三陸）の言葉が話題になりました。

方言には、ふるさとのやさしさがあり、皆それぞれの地元を想う気持ちと懐かしい響きは、地域を越えても温かさを感じる言葉ではないでしょうか。（ちなみに北三陸より北では「じゃ」、陸前高田では「ぶあ」というそうです。おもしろいですね。）

悲しい事件や自然災害、悲惨な出来事が起こる中、2020年開催のオリンピックが東京に決まりました。未来への楽しみや希望、目標が出来ると思いが新たに、前進するきっかけになります。

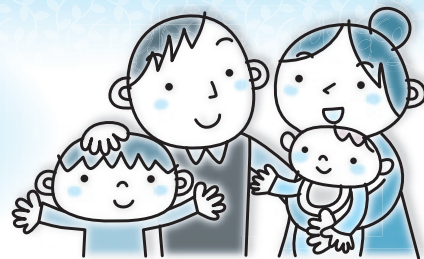
平和と平等な社会を目指し、思いやりの心を育むやさしい人づくりに温かな方言が一役買ってくれることを期待し、3. 11とその後の厳しさ（北風）を知っている人々の明るい希望（太陽）になってほしいと願います。

すべての人の笑顔が輝く草加市を目指して



草加市の男女共同参画
いま、こんなふうに進めています

くらしの中にある男女の差別や格差を解消し、すべての人が性別にかかわらず支えあい、協力しあって、男性にとっても女性にとっても暮らしやすい社会が「男女共同参画社会」です。この社会の実現を目指して、市ではフォーラムやセミナー、料理教室など様々な事業を展開しています。あなたも一度、参加してみませんか。



草加市男女共同参画フォーラム

（平成25年度地域人権啓発活動活性化事業）

「女性の力を活かして日本を元気に!～経済、ワークライフ・バランス～」と題し、11月24日(日)に中央公民館ホールで法政大学教授の田中優子さんによる講演会を行いました。

平塚らいてうと市川房枝の話を中心に、女性の地位向上を目指した歴史的な活動について振り返った上で、「現在の日本は先進国の中でもまだ男女間の賃金格差が大きく、管理職に占める女性の割合が低い」「女性の管理職比率が高い企業の収益は相対的に高

い」といった話があり、「性別や年齢、国籍などを問わず、個人の能力が発揮される《真のダイバーシティ》を実現することが重要です」とのメッセージをいただきました。

またこの日は講演の他、市内で男女共同参画に関する活動をしている団体・企業の展示、市内でワーク・ライフ・バランスを推進している企業や埼玉県ウーマノミクス課職員による発表、ミニコンサートなどが行われ、活気に満ちあふれたフォーラムになりました。

法政大学 田中優子教授



フォーラムの様子



参加者の声

●田中優子先生のお話は素晴らしかったです。平塚らいてうさんの本も読んでみたいと思いました。

●「女性が男性化する必要はなく、個々の能力を発揮する事が重要であり、女性の働く意味は女性の価値観を反映させること。」というメッセージが印象に残りました。

主催 草加市・特定非営利活動法人 みんなのまち草の根ネットの会
後援 越谷人権擁護委員協議会草加部会

料理を通じて親子の触れ合い



参加者の声

・なかなか親子(父と娘)で料理する機会がないので楽しかった!
・今年で3年続けて参加しています。初めて参加した時はお母さんばかりで、男性は私ともう一人のお父さんしかいなかったのに、今はお父さんの方が多いですね。いい事です。

8月24日(土)夏休み親子料理教室を開催。大人12名、子ども15名、11家族の方々が親子で料理を楽しんでいました。回を重ねるごとにお父さんの参加が増え、今年は9名の方に参加していただきました。

人権週間のお知らせ



毎年12月4日から10日までは人権週間です。

本年度の啓発重点目標は

「みんなで築こう人権の世紀～考えよう 相手の気持ち育てよう 思いやりの心～」

国際連合では世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」と定め、12月4日～10日を人権週間とし、人権尊重思想の普及を図るため集中的な啓発活動を行っています。この機会に皆さんも「思いやりの心」や「かけがえない命」について考えてみませんか。

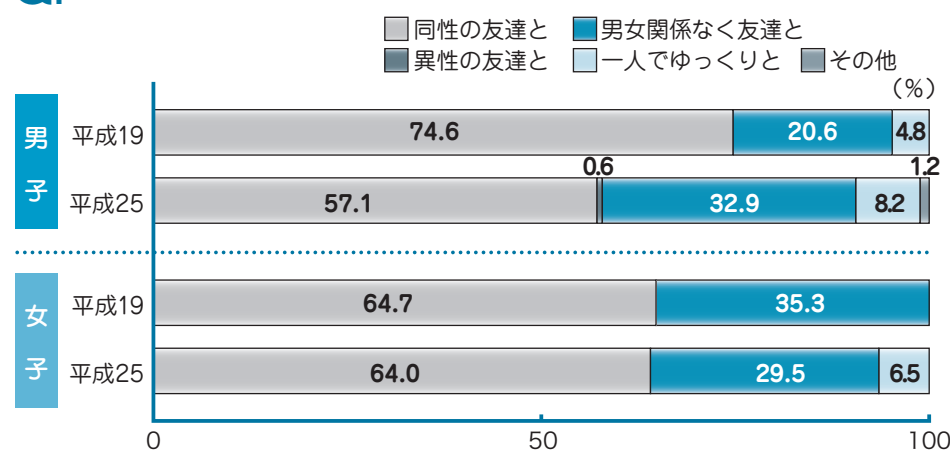
○人権相談

人権擁護委員が受けます。（案内チラシを町会、自治会で回覧。）

○配偶者等からの暴力相談

専門の女性相談員が対応します。（詳細は4面。）

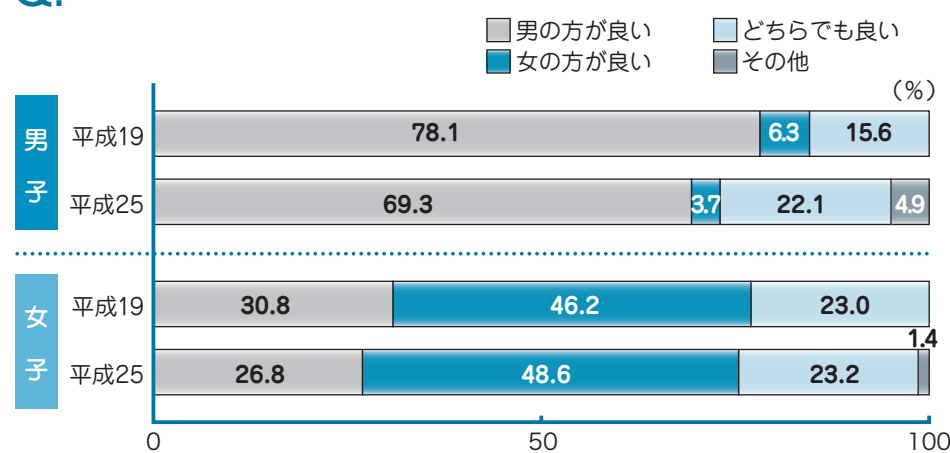
Q. 学校の休み時間は誰と遊びますか？



★遊ぶときは、男子の方が異性を気にしないで遊んでいます。

男女とも、同性の友達と遊ぶことが多いようですが、女子の約30%、男子の約33%が男女関係なく遊んでいます。
また、「一人でゆっくりと」という子が6年前と比べて増えています。

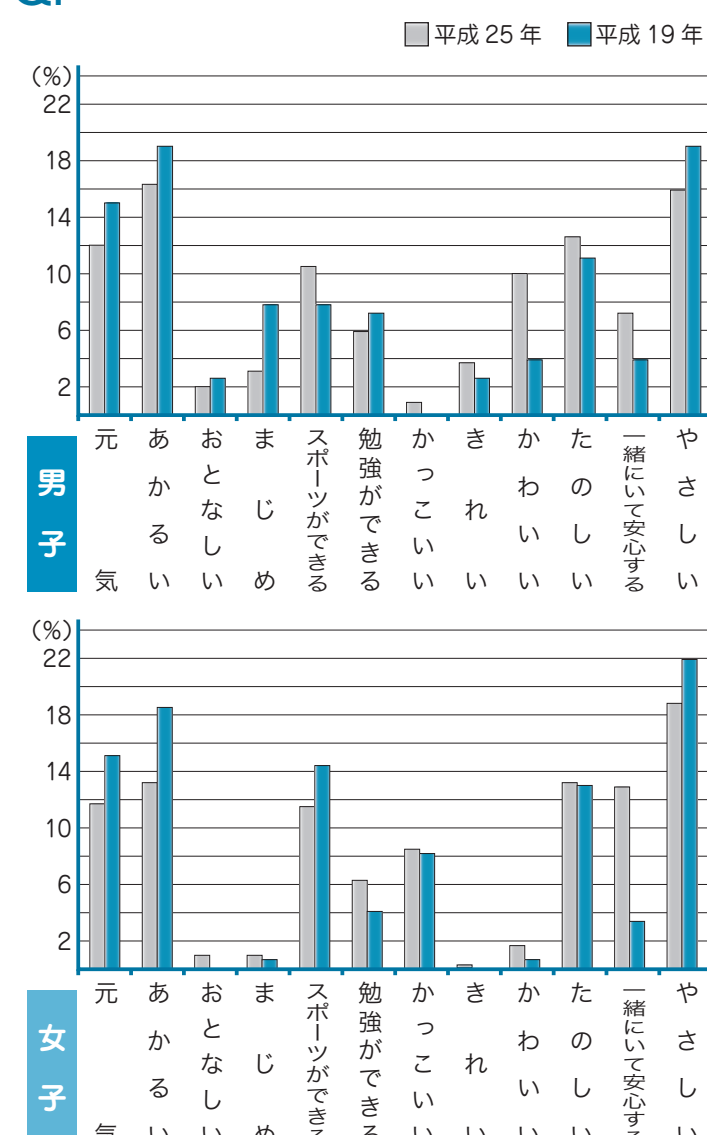
Q. 生まれ変わるとしたら男と女どちらが良いですか？



★「男の方が良い」と思っている女子は減少。男子でも「男の方が良い」と思っている子が減少。

女子は、「今すごく楽しいから」「今の女の自分が気に入っているから」、男子も、「今の人生が楽しいから」「今のまががいいから」ということから、男女とも、同じ性別が良いという答えが1位でした。ただ、男子は6年前に比べてその割合は減っています。

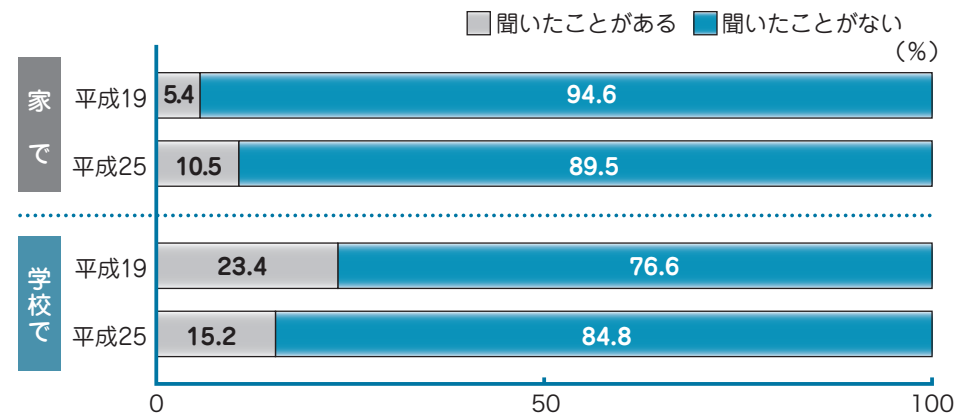
Q. どんな異性が好きですか？（○は3つまで）



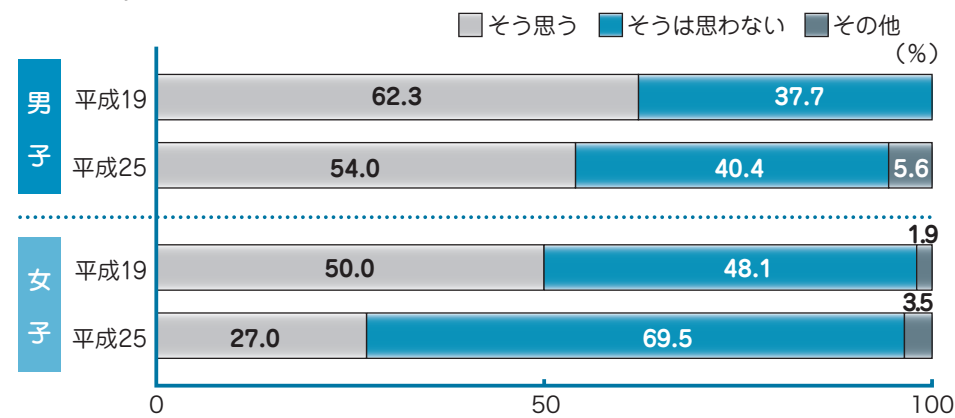
★男女とも、人気がある異性のタイプは「やさしさ」と「あかるさ」

男女とも、異性に求めるものは「やさしい」「あかるい」「たのしい」「元気」が上位を占めており、6年前とほぼ同様です。
他には女子は「一緒にいて安心する」「スポーツが得意」な男子が好きで、男子は「スポーツが得意」「かわいい」女子が好きという傾向があるようです。

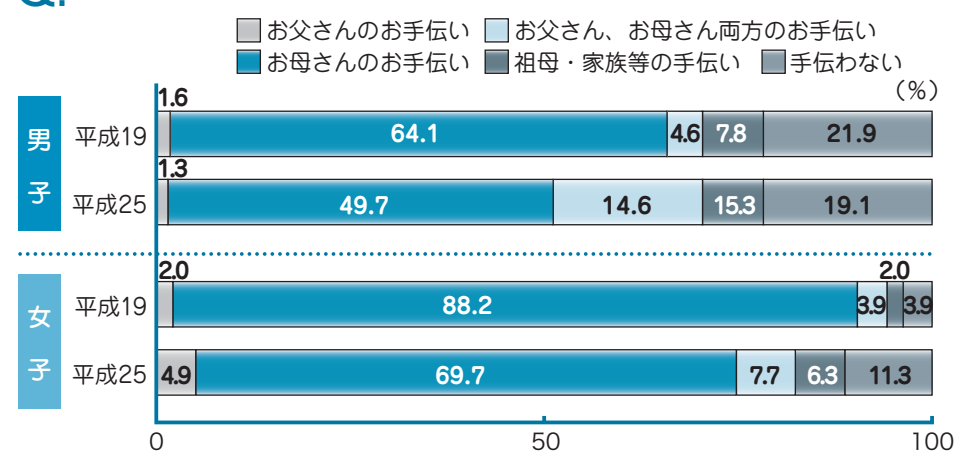
Q. 「男女平等（男女共同参画）」という言葉を知ったことはありますか？



Q. 男は外で仕事をし・女は家で家事をするものだと思いますか？



Q. 家では誰のお手伝いをしますか？



今回「続 男の子の意識・女の子の意識」と称して、今の小学6年生にアンケート調査をしました。意識や考え方に、6年前と大きく変わっているものとほぼ同じで変化の少ないものが見られました。
例えば、男女平等（男女共同参画）という言葉を知ったことがあるという意識を否定する子どもが増加し、女子は約7割が否定しています。このように男女平等（男女共同参画）に関する認知度、意識は確実に向上しています。これには男女平等教育や家庭科教育および先生方の意識の向上も影響していると考えられます。
家族との関わりや役割分担においても、家のお手伝いをする女子の割合は減少しているもの

★男女平等（男女共同参画）という言葉を知ったこと、子どもたちが増加

家で「聞いたことがある」と答えた子どもたちの人数は6年前と比べてほぼ倍増しています。しかし、ほとんどの子どもたちが「聞いたことがない」と答えています。

★大多数の女子が性別による役割分担を否定する意識になってきている。

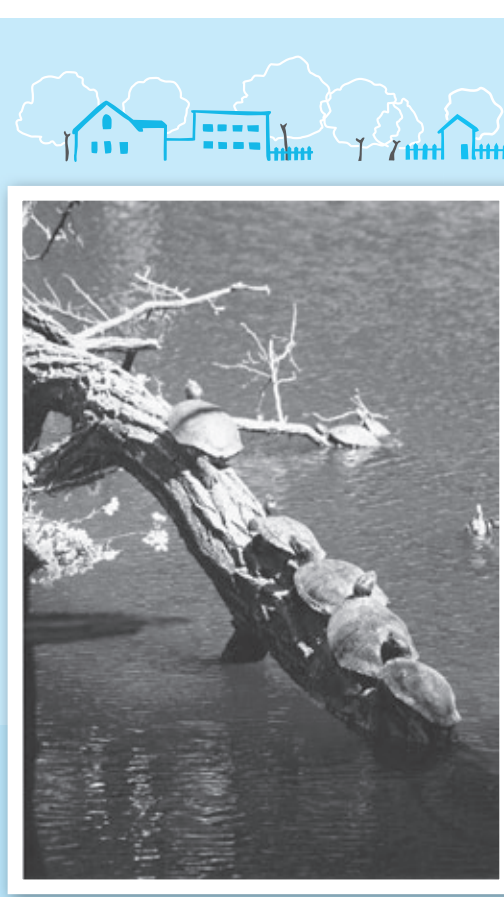
「男は仕事」「女は家事」という性別役割分担意識について女子は約70%が否定していますが、男子は54%がまだ肯定しており、男女の意識の差がまだ大きいと思われます。

★男女とも「お父さん」「お母さん」両方を手伝う子が増加

男女とも、「お父さん」「お母さん」両方を手伝う子が増えています。家事における、お父さんの分担が増えていることがうかがえます。

総評

男女共同参画社会の実現には、個人の行動の原点である「意識」「考え」の持ち方が重要です。特に人格形成期にある子どもたちの「家庭や学校における男女の関わり」についての考えや行動が重要となります。
平成19年に市内の小学6年生の児童116人にアンケートをしましたが、今年も同じアンケートを市内の小学6年生の児童306人にアンケートをして意識の変化を分析しました。



「カメの花見」 林 武正



「水遊び」 杉田 勝子



「ともだち」 大賀賀 富久



「ひとやすみ」 須藤 松枝

写真展

ほっとする瞬間

男女共同参画さわやかサロンの「ほっとする瞬間」写真展に応募のあった39作品の中で来場者の人気が高かった4作品です。みなさんは最近、どのような時にほっとしましたか？

それいゆ川柳

テーマ「笑顔」

「それいゆ」第64号で募集し
皆様からお寄せいただいた作品です。

❖ 三日月が 冷えた心に 笑えみを
旭町 久保田桂子

❖ 我が笑顔 自分で一度 見てみたい
弁天 山本 愛子

❖ どうしたの えくぼが誘う うれしさよ
青柳 眞殿 和子

❖ ぢぢばあちゃん から笑顔でもらう お年玉
吉町 加藤二三子

❖ 偶に来る 孫の笑顔に 癒される
原町 河野 隆

❖ 愛妻や 選句写メにて 春日和
青柳 大里美和子

❖ 野良猫へ 精一杯の 笑顔見せ
松原 村田 全子

❖ 桜咲く 笑顔飛び交う 掲示板
八幡町 小島 久

❖ 笑うほど 顔の内堀 深くなり
中根 木歌さわか

❖ 介護して 返る笑顔に 癒される
新栄町 中村 洋子

❖ 鬼やらい 笑顔の乱戦 デイサービス
金明町 H・Y

❖ 笑顔ほど 心をほぐす 葉なし
栄町 田中 典子

❖ 耐えに耐え 遂にふき出す 睨めっこ
谷塚町 小堀 二六

❖ 怒るより 明るい笑顔で 家づくり
原町 大平 勝朗

お待ちしております 「男女共同参画さわやかサロン」

草加市文化会館2階 図書資料室

「男女共同参画さわやかサロン」は草加市文化会館2階にある男女共同参画推進の活動拠点です。アドバイザーが常駐し、市民の皆様の交流・活動の場として、多くの方に利用していただいています。当サロンでは、男女共同参画に関する月刊誌、行政資料、各種広報誌、また市民活動やサークル活動、子育て情報などもご覧いただけます。約600冊の図書の貸し出しも行っています。

利用時間：

平日：第一土曜日（第一水曜日は休館日）
午前9時～午後5時

配偶者暴力相談支援センター

DV、ひとりで悩んでいませんか？

専門の女性相談員が対応します。秘密は守ります。
まずは話してみませんか。お気軽にご相談ください。

（相談日および時間）※ 予約制

月～金（土、日、祝・休日は休み）の午前10時～午後4時まで
緊急の場合は午前8時30分～午後5時まで受け付けます。

（場所）草加市配偶者暴力相談支援センター（草加市役所人権共生課内）

（電話）048-922-3562 （FAX）048-927-4955



女性の生き方 なんでも相談

（予約制）

ひとりで悩まないで！女性相談員（専門カウンセラー）が気持ちの整理のお手伝いをし、問題が解決していくよう一緒に考えます。

- 実施日時：毎週木曜日・第一土曜日（1月は第二土曜日）午前11時～午後4時
- 実施場所：草加市文化会館内 2階相談室
- 予約受付：931-9325（内線50）
男女共同参画さわやかサロン
（草加市文化会館 2階 図書資料室）

- ★個人の秘密は厳守いたします。
- ★相談は無料です。



☆さわやかサロン展示紹介☆

「時代を切り拓いた女性たち」：江戸時代末期から明治、大正時代にかけて女性である自分を真正面から見つめ、性差別社会をよしとせず、人生を切り拓いた荻野吟子、平塚らいてう、樋口一葉など女性20名を写真と共に紹介しています。

「職場における女性に対するステレオタイプの見方」

男女が同じような行動をとってもそれが女性か男性かによつて、その行動に対する見方は違ってくるもの…というテーマで男女に対する社会の見方の違いをわかりやすく表現したパネルを展示しています。

例：彼（彼女）の机に家族の写がある

……彼は堅実で責任感がある家庭人だ。

……彼女は、キャリアより先に家庭が来るのだろう。

彼（彼女）の机の上はちらかっている

……彼は明らかに勤勉な労働者であり、多忙な人だ。

……彼女は明らかに無秩序で散漫だ。

*今後のイベント予定

『写真展』平成26年2月 テーマ「私の自慢」

ご応募いただいた作品はサロン内と市役所ロビーに展示します。（応募要項は広報そうか元旦号に掲載します。）
皆様のご応募をお待ちしています。

編集後記



「それいゆ」編集協力員2年目で、草加市の男女共同参画推進に少しは貢献できたかなと思っています。今年は、平成19年の特集「男の子の意識、女の子の意識」の続編を企画しました。この6年での小学生の意識の変化に考えさせられる面が多々ありました。今後もこうした意識調査を続けて、草加市の教育や家庭での関わりなどに反映されることを望みますし、編集協力員としても積極的に関わっていきたいと思っています。（K・M）

今年のそれいゆは、タイトルが一新しました。親しんでいただけるよう、やわらかな「ひらがな」になっています。

類は友を呼ぶといいますが、困りごとや同じ悩みを持つ人とのめぐり合わせも少なくありません。そんな時、さわやかサロンで得た情報やつながりが役に立つことがあります。人とのつながり、大切にしたいと思っています。（M・I）

婚外子（結婚していない男女間の子供）の相続差別を違憲とした最高裁大法廷の判断は子供の平等を考えた歴史的な判決と言える。少子化がいわれている日本における婚外子の割合は2%にすぎないが、婚外子が差別されることなく扱われるような社会になっ

ていつてほしいと望んでいる。（S・I）